

ほほ笑ましい風景も

結婚した農業後継者の
皆さんが記念植樹



町結婚相談所では、結婚した農業後継者を対象とした記念植樹を計画、昨年四月から今年四月十一日までに結婚した方々へ呼びかけたところ、農作業で忙しいなかを七組の夫婦が参加して、五月二十日に実施しました。この日、午前十時に幕別温泉ホテル前へ集合、ただち

に植樹をはじめましたが、夫婦が協力して植樹するほほ笑ましい風景がみられ、お昼までに百二十本の桜を、温泉ホテル周辺に植えました。なお、結婚相談所では、植樹に参加した方々に記念としてアメリカハリモミを贈りました。

まぐわ

'79

329

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555)4-2111
●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

6

正副議長に山田・黒島氏

総務・伏屋、厚生・岸上氏

産業・森脇、建設・西田氏

▽議長・山田栄(再) ▽副議長・黒島通(新)

常任委員会

総務 ▽委員長・伏屋隆徳 ▽副委員長・稲毛空征 ▽委員・廻淵茂、黒島通、高橋勇、笹島登喜生、関口茂男
厚生 ▽委員長・岸上利雄 ▽副委員長・八十島宗正 ▽委員・山崎長一、須田尠、佐藤糸江

産業 ▽委員長・森脇仁 ▽副委員長・国枝光明 ▽委員・中寺常次郎、六郎田勇、折笠要、山中増雄

建設 ▽委員長・西田利夫 ▽副委員長・前川正 ▽委員・小田善一、林源一、加藤秀雄、石原郁夫

議運・折笠、広報編

集・黒島氏 特別委員会

議会運営 ▽委員長・折笠要 ▽副委員長・高橋勇 ▽委員・黒島通、岸上利雄



山田 栄議長

明治四十年七月十四日生れ。七十二歳。昭和三年に字五位で家畜医院を開業。昭和三十年から町議会議員二期、昭和四十六年から連続三期町議会議員に当選、議長も今期で三期連続。この間、町教育委員長、町選挙管理委員長を歴任した。昭和四十二年から町森林組合理事、同五十年から組合長理事に就任、現在にいたる。



西田利夫、伏屋隆徳、森脇仁

広報編集 ▽委員長・黒島通 ▽副委員長・関口茂男 ▽委員・六郎田勇、林源一、佐藤糸江

一部事務組合

東十勝消防 ▽議員・小田善一、国枝光明、笹島登喜生、須田尠
学校給食 ▽議員・小田善一、水野正



黒島 通副議長

大正三年一月二十二日生れ。六十五歳。昭和三年に仙台市内の高等小学校を卒業後仙台で商業に従事する。昭和六年、父の農業経営に従事するため千住の現在地へ。昭和十八年に応召、また、啗別(現在の相川)青年訓練指導員、白人小中PTA会長を歴任した。昭和四十六年に町議会議員当選、現在三期目。

盛、高橋勇、加藤秀雄

研修センター ▽議員・黒島通

清掃施設 ▽議員・山田栄

環境衛生 ▽議員・山田栄

伝染病 ▽議員・山田栄

高等看護学院 ▽議員・山田栄

議員会・中寺、監査

委員・廻淵氏 各種委員会

議員会 ▽会長・中寺常次郎 ▽副会長・廻淵茂 ▽幹事・小田善一、水野正盛、八十島宗正、前川正、山崎長一(会計担当)
▽会計監事・石原郁夫、稲毛空征
監査委員 ▽廻淵茂

昭和五十三年年度の一般会計総予算は五十六億四千二百二十四万三千元に

第二回臨時町議会で、町議会の構成を決めたのち、特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例、町税条例、町国民健康保険税条例を、それぞれ一部改正したほか、昭和五十三年年度一般会計および昭和五十四年度一般会計補正予算を審議、可決されました。

この結果、昭和五十三年年度の一般会計総予算は五十六億四千二百二十四万三千元に、昭和五十四年度の一般会計総予算は四十八億二千三百六十六万六千円になりました。

6月の農作業



麦類
秋播小麦の作付が年々増加していますが

病害虫防除と管理作業は適期に

春先から低温に経過したため、各作物の蒔付け作業がかなりおくれましました。これからは除草剤散布、中耕培土、病害虫防除あるいは牧草の収穫、追肥などと忙しくなりますが、健康に注意しながら、計画的に農作業をすすめ、農薬の被害やトラクターによる事故防止につとめましょう。今月から毎月の農作業について連載いたします。わからない点がありましたら、普及所または農協、役場におたずねください。

うどんこ病とさび病の発生に注意し、発生した時は早期防除をおこないましょう。薬剤には水和硫黄剤（コロナ、サルトン三〇〇〜四〇〇倍）があります。

豆類

〔中耕除草〕 中耕は土壌中の気水の透水を良くし、作物根などにより土壌が過湿な時や堅密な状態の時は深くおこない、土壌が乾燥気味の時は浅くおこなうなど、除草をかねて排水や保水、さらには土壌の物理性を良くすることも考慮しておこないましょう。

〔病害虫防除〕 一般畑の大正金時で無苗種子（採種ほ産）を用いていない場合、かさ枯病防除は子葉展開期から十日〜十五日ごとに二〜三回防除が必要です。

薬剤は銅水和剤（KBW・クフラピット・ホルテ六〇〇倍）があります。

馬鈴しょ

〔中耕培土〕 萌芽直前には除草剤としてグラモキソン一〇〇〇倍、またはロックス水和剤七〇〇〜一〇〇〇倍を散布しま

すが、萌芽後二十〜二十四日に半培土をおこない、本培土は開花はじめ前に実施しますと地下部の損傷が軽減できます。

〔病害虫防除〕 疫病は品種にもよりますが、早生種では六月下旬頃から発生時期になりますので、定期的に予防的防除をおこなう必要があります。

てん菜

〔中耕除草〕 移植栽培では一般に平畦または半高畦栽培をおこなっており、中耕除草の際に土を寄せ過ぎると冠部に土がのって、後で根ぐされ病の誘因となりますので注意が必要です。

〔病害虫防除〕 中旬頃からはテンサイモグリハナバエ、月末からはヨトウガの第一回発生時期になりますので、同報無線や農業技術速報により防除につとめましょう。また、中旬からは根ぐされ病の防除時期になります。この防除にはヘンタゲン水和剤（七五％）三〇〇倍による根元散布（六月中旬〜下旬から一〜二回）が効果的です。

草丈十五センチで放牧

放牧開始の日安は草丈十五センチ程度になった時です。春の草は成長する速度が早く、実際の放牧はおくれがちになりますので放牧計画を樹てるようにしましょう。

放牧地に追肥した場合は乳牛の健康と硝酸態窒素が乳牛の健康に障害を及ぼすことを考え、二週間程度経過してから放牧した

いものです。

放牧初期の栄養バランス

五月の若草は高い蛋白の栄養条件となり栄養のバランスがとれなくなるので、乾草やサイレージの組合せ給与が重要な時期です。また青草のみでは軟便がひどくなり第一胃の正常な働きが出来なくなるため乾草の給与は必須条件として大変重要なことです。飼料給与の技術として一般的にはエネルギー（TDN）の不足分を補うことを第一に、タンパク（DCP）の過剰は乳牛の要求量に対して一四〇〜一五〇％程度までは影響がないと言われています。低エネルギー、高タンパクの飼い方では乳牛の起立不能症候群や繁殖障害等の原因になります。

青草につくと塩分の要求量も多くなります。青草には加里分が多く含まれており、この余分な加里は尿として排泄される時に塩分も一諸に出てしまいます。泌乳中の牛には一日五十〜八十グラムぐらい採れるように塩の準備をしておきましょう。また水飲場、パドック等の準備も手ぬかりなく進めましょう。

デントコーンの栽培

デントコーンは種類が多く、地域の気象や栽培条件などに適する品種の選定が容易になりました。良質サイレージの原料を得るためには収穫時期（九月中旬）までに確実に黄熟期に達する品種を選ぶことが大切です。栽植密度は疎植に過ぎると一本の茎重は多いが単位当り収量は低く、過密では軟弱となり雌穂重が少く減収しますので適正な栽植本数を保持するように注意しましょう。

60年代を総合的に展望

新・総合計画 策定要領きまる

その後、オイルショックなどの経済変動があり、一部見直しをおこないましたが、この計画も昭和五十五年をもちて終了するため昭和六十年代の幕別を総合的に展望する新しい総合計画を、町民の皆さんの参加をもとめて、まとめることになりました。

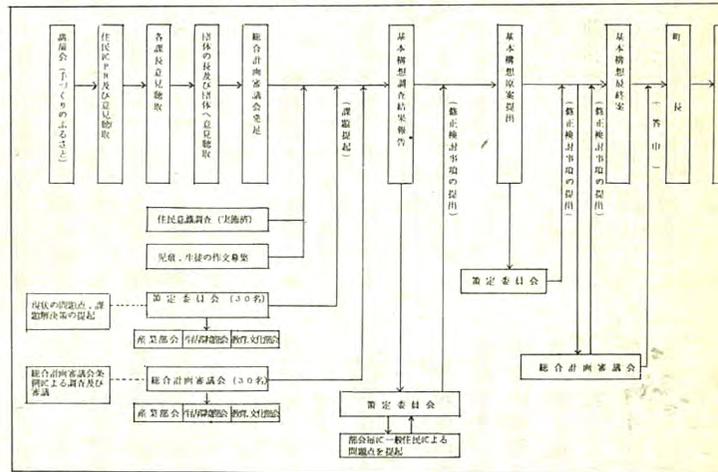
策定期期と計画期間

新・総合計画は、昭和五十四年に基本構想を、昭和五十五年度には基本計画および実施計画と、二か年間でまとめ、昭和五十六年度から、新しい総合計画にもとづいて、町づくりを進めることになっています。基本構想の策定は、下図のような機構で実施し、五頁に掲載した講演「手づくりのふるさと」も、この計画策定の大きなポイントになっています。

計画の方法

この、新・総合計画は、町議会で議決という手続きが必要ですが、議決に先立ち、町民の皆さんの意見を十分に聞き、また（株）日本コンサルタンツグループにも協力を、お願いすることになっていま

総合計画基本構想策定機構図



す。町民の皆さんの、この計画策定にたいする参加は、すでに実施した住民意向調査（広報まくべつ十二月号に掲載）のほか、産業、生活環境、教育・文化の三部会ごとに開催される懇談会にも参加をお願いし、いろいろとご意見をお聞

育成資金制度を

ご存知ですか

交通事故で両親を失った方、重い後遺障害が残った方々の援助制度として、長期の育成資金制度があります。この制度は国の資金で運営され、無利子で一

きます。また、児童、生徒の皆さんや、商業・工業・農業などの各団体も計画策定に参加していただきます。

計画の実行

新・総合計画を、よりスムーズにすすめ、秩序のある町とするには、町の予算編成と密接なつながりがなければなりません。このため、予算編成は「新・総合計画」

あなたの意見・夢を町づくりに

新しい総合計画、すなわち町づくりは、幕別に住む方々にとつて最も関心があることと思います。しかし、ただ単に「要望、意見をお聞かせください」とお願いしても、たいへん大きな問題ですので「では…」というわけにはいけません。

ひとつの例として、観光について考えてみましょう。現在の観光は、今までのように風光明媚な場

にもとづいて実施し、また、国や道が地域計画を策定し、事業をおこなうにあたって、この計画を「尊重すべき指針」とすることになっていきます。

このように、幕別町の発展のために樹てられる町独自の自主的な総合計画です。町づくりに町民全員が参加し、他の町村に誇れるような「町づくり」をすすめますよう。

所があるから観光を—という時代ではなく、野外にテントを張り、自分たちで料理を作り、楽しい一日をすごす、というように変わってきています。これは観光の面だけではなく、町づくりでも言えると思います。

新・総合計画は、町民の皆さんの「手づくりの味」を出してみたいと思います。それには多少の泥臭さがあっても良いのではないのでしょうか。皆さんの、ほんのちよつとした夢・疑問・意見が、すばらしい町づくりに発展するかも知れません。

どんなことでも、かまいません。私たちの町・幕別町発展のため、皆さんの夢やご意見を、およせください。ご意見は役場企画財政課に、お願いいたします。

講演「手づくりのふるさと」

幕別町第一期総合計画は、一応昭和五十五年でピリオドを打ちます。町では、五十六年からスタートする第二期総合計画に向けて、新しい町づくりのあり方を探ろうと四月二十四日に講演会「手づくりのふるさと」を開催しました。これから皆さんにも町づくりに参加していただき、いろいろとご協力をお願いしなければなりません。講演のおもな点をご紹介しますので、皆さんとともに町づくりについて考えてみましょう。

町の香りのする町づくり

私は、以前に北海道の観光計画をたてました。そのときのテーマが「冬こそ北海道」です。冬は、雪が降るから何もできないとあきらめている部分があります。冬にはできないと思っているものを、冬こそできるものにつくり変えること。すなわち冬を克服することが、北海道をつくり変えることであり、このテーマの主題でもあります。このように、町づくり計画にも「どのような町にするのか」という目標をつくる必要があります。

たとえば、宮崎県の場合を紹介しますと宮崎県は「太陽と緑の国、宮崎県」と言われる程の観光県です。日南海岸とフェニックスの木、そして一年中季節の花々で飾られています。この観光地は、昔からあったのではありません。これは、宮崎県の観光会社の社長がつくり出したものです。



講師・萩原茂裕先生

- 旭川市生まれ
- 慶応義塾大学（経済学部）卒業
- 全国の地方自治体のプロジェクトに参画
- 北海道庁観光計画を策定

昭和二十五年に毎日新聞が、全国観光地百選という企画を組み全国から一番素晴らしいと思われる観光地を投書させました。そのとき、この観光会社の社長が何も無い海岸線を日南海岸と名付け、百二十一万枚ものハガキを出し全国一素晴らしいところと紹介しました。そして、日南海岸にフェニックスの木を毎年植え続け、また、一年中季節の花々を植え続けました。これが、今の日南海岸です。また、駅前には、ワシントンヤシの木が不揃いに植えられています。

これは、宮崎県の民謡「切干切り唄」の前唄の音譜の高さにせんでいされているためです。このようにして、住民が一致協力し宮崎県に愛情を込め、観光地として育て上げた、その結果が、今の宮崎県です。

これと反対なのが、福井県です。福井県には、「東尋坊」という層雲峡と積丹とをミックスしたような有名な観光地があります。この東尋坊が年々観光客が減り困っています。ここは、昔から素晴らしい自然があるのに、無計画に旅館を建てたり土産物屋を建てたりして自然の美しさを破壊してしまっただけです。

目標を持つこと、そして発展していくものが一つできたらこれに、他のものを掛合せていく必要があります。そのものを話せばその町がわかるような、また、その町の香りのする町づくりが必要です。

ふるさとの教育

ある町へ行つたとき、その町の子供や若者達に町の歴史などを質問したところ「わからない」という返事が返ってきました。私は、この町では、町の歴史や町の将来計画を何も教えていないのではと思いました。これでは、子供達や若者達が、自分の町に愛情や自信が湧いてくるはずがありません。教育には、第四の教育が必要だと思います。家庭教育、学校教育、社会教育そして「ふるさと教育」です。自分が住んでいる町の素晴らしさを子供の頃から知り、自信を持って自分の町を語ることができる教育が必要です。

町づくりとは、町の歴史の中から、古いものでいま眠っているものにスポットを当て、「こんな素晴らしいものがあるのだな」ということを知り、その中に新しい文化を加えることだと思えます。

町づくりは

町民のロマンの結集

八戸市で野犬が増え小学生にかみつきけがをさせた事がありました。住民から「市役所は何をしているのか」と抗議の電話が殺到したそうです。しかし、このとき、住民は、野犬を増したのは私達にも責任があると立ちあがり、ある獣医は犬の避妊の注

消防長を部長職に

人事異動を十六日付で発令

〔部長職〕▽建設部長（総務部民生課長）
杉山孝 ▽東十勝消防事務組合へ派遣（総務部町民課長）二川辰夫

〔課長職〕▽総務部総務課長（総務部民生課保健係長）清水雅 ▽総務部民生課長（総務部総務課長）前原懿▽総務部町民課長（教育委員会社会教育課長）山崎輝昭
▽総務部児童課長（東十勝消防事務組合消防本部次長）山口秀勝 ▽教育委員会へ出向（総務部児童課長）林照男

〔係長職〕総務部 ▽総務課文書係長（札内支所住民係長）土井昌一 ▽企画財政課経理係長（農業委員会振興係長）前田竜夫 ▽民生課保健係長（企画財政課経理係長）小野成義 ▽町民課環境衛生係長（開発商工課商工係長）浅見康夫 ▽町民課交通防災係長（幕別豊頃学校給食組合総務係長）平田正一 ▽札内支所住民係長（町民課交通防災係長）井川澄夫

経済部 ▽農林課農業企画係長（農林課畜産係長）井上恒夫 ▽農林課畜産係長（農林課育成牧場係長）小山健一 ▽開発商工課商工係長（総務部付）角田正義 ▽幕別温泉総務係長兼業務係長（幕別温泉総務係）大沢要

建設部 ▽下水道課事業係長（下水道課事業係）増谷文夫
▽議会事務局へ出向（町民課環境衛生係長）小尾和夫
▽農業委員会へ出向（総務課文書係長）長屋忠弘

（次のページの下段につづく）

射を無料で行ったり、学校では野犬がいる。地域を子供達の情報を基に調査するなど住民と市役所の力で市内から野犬をなくす運動を行い全国一野犬のいない市になったそうです。このように、町づくりには積極的

な住民の参加がなければ良い町づくりはできません。町づくりは、私達の子供や孫の時代への贈り物です。町づくりは、住民全員が、楽しみながら夢を描くこと、すなわち住民のロマンの結集だと思えます。

総事業費は十五億円

農村総合整備モデル事業スタート

農村と都市の格差を縮めるため各種事業がすすめられていますが農業の近代化と農村の生活環境の整備を目的とした「農村総合整備モデル事業」が、本町でもスタートいたしました。

この農村総合モデル事業は、国からの補助で農村の環境整備をすすめる総合的な整備計画を作成することが認められる制度で昭和五十四年度は、全道で幕別町など六町が国土庁より認められました。

昭和五十四年度は、農村の総合計画と言われる整備計画を作成しますが、その第一段階として、皆さんのお考えを幅広くは握しようと、六月上旬に無作為抽出による千人アンケート調査を行います。

なお、この事業は、国土庁のほか農林水産省も関係する大規模な事業で、事業が終了するのは六十年をメドにしています。

札内に帯広信金支店

五月二十一日に地鎮祭を執行

西幕別地区の方々が待ち望んでいた金融機関が、札内市街に設けられることになりました。

人口の伸びと各種企業の進出がめざましい西幕別地区、特に札内市街には、郵便局と札内農協以外に金融機関はなく、一部の方は帯広まで足をほこび、時間的に不自由をしていました。

このため、西幕別の発展のためには金融機関が、どうしても必要と、去る昭和四十七年十月地区の有志によって金融機関誘致委員会（小田善一会長）を設

立して運動をすすめてきました。当初誘致を計画した金融機関は、どうしても進出が無理のため断念し、昭和五十二年五月から、誘致の目標を帯広信用金庫にし、町、町議会、商工会、誘致委員会などが連書して陳情をつづけていました。

帯広信用金庫でも発展の一途をたどる西幕別への進出に乗り

り気となり、支店建設地として工藤智明さん所有の元郵便局跡地に白羽の矢をたて、工藤さんの協力によって昨年十一月二十四日に敷地の売買契約をすませ

て、大蔵省に支店開設を申請、内認可がおりたところから、五月二十一日に店舗新築地鎮祭を

おこないました。新築する店舗の面積は、延四百五十六・一五平方尺。九月いっばいで工事を終え、開店は十月中旬を予定しています。

なお、職員数は支店長を含め九名。各種の公共料金の支払い住宅ローンの支払いなども取り扱うことになっており、関係者は一日も早い開店を待ち望んでいます。

なお、この事業は、国土庁のほか農林水産省も関係する大規模な事業で、事業が終了するのは六十年をメドにしています。



警察官の採用試験

道警では来る七月八日に採用試験をおこないますが、ただいま受験者を募集しています。受験希望者は六月二十二日までに近くの警察署へ

▽幕別豊頃学校給食組合へ派遣（議会事務局局長兼議事係長）高田敏

（主任・係職）総務部 ▽総務課総務係
成田信子 ▽企画財政課企画兼統計係・藤内和子 ▽税務課資産税係・新屋敷清志
▽民生課住民係・吉崎厚子 ▽児童課児童係・佐藤礼子

経済部 ▽農林課農政係・渡部謙一 ▽農林課農業企画係・島田吉昭 ▽同・北原道喜 ▽農林課畜産係・金須幸雄 ▽農林課畜産係主任・辻敏 ▽農林課畜産係・服部雪雄 ▽同・窪田華一 ▽開発商工課商工兼労政係・鱈一郎 ▽幕別温泉総務兼業務係・梅田善通

建設部 ▽車両センター運行係主任・平出弘 ▽同主任・七条繁秋 ▽同係・山保盛 ▽同・小笠原稔晴 ▽同・須田定男

▽東十勝消防事務組合へ派遣・豊田百合子
▽幕別豊頃学校給食組合へ派遣（車両センター）運行係主任 藤井秀雄 ▽同・高森一男

▽教育委員会へ出向（車両センター運行係主任）牧野稔美 ▽同・石田貢治
（議会部局）▽議会事務局庶務兼議事係長・小尾和夫

（教委部局）▽社会教育課長・林照男
▽学校教育課学校教育係・古川耕一
（農委部局）▽振興係長・長屋忠弘
（幕別豊頃学校給食組合）▽総務係長・高田敏

（東十勝消防事務組合）▽消防長兼幕別消防署長・二川辰夫 ▽消防本部総務係・豊田百合子

エネルギー節約



日曜、祭日は休業

町内の石油スタンド

幕別、札内地区に 日曜当番スタンド

イランの政変から世界的に石油不足となり、日本でも石油消費量の5%を節約することがなりましたが、いっこうに実

および札内部会では、通産省の強い行政指導から、五月二十一日に会議を開き、五月二十七日の日曜日から休業することになりました。だが、緊急の場合を考慮して、幕別と札内地区に、それぞれ日曜当

番のスタンドを置くことを決めました。現在のところ、アメリカでおこったような石油危機は考えられませんが、世界的に絶対量が足りない石油を少しでも節約するために、月に一回、車を使わない日を設けたり、不要不急のドライブなどは、なるべく控えたいものです。

なお、日曜日にやむなくマイカーで遠のりする時は、前日にガソリンを補充するようにしてほしいと石油部会では望んでいます。毎月の当番スタンド名は広報紙上で、お知らせいたします。

産業廃棄物の投棄に許可制

利用者は町民課、札内支所へ

事業をすすめることによつて出るゴミを産業廃棄物といいますがこの産業廃棄物を町のゴミ捨場に捨てる時、許可を受けなければ利用することが出来なくなりました。産業廃棄物として出されるゴミの量は年々増え、また、帯広からも捨てにくる者が跡をたたく

ないため、去る四月から許可制とし、ステッカーを交付しています。許可に必要な料金は、ゴミを運搬する車両によつて違いますが、月五百円から九百円までとなっています。ゴミ捨場を利用したい方は町民課環境衛生係、または札内支所まで、おいでください。なお、町内の事業所であつても町外の事業で出たゴミは、ゴミ捨て場に捨てることは出来ません。このほか、くわしいことは町民課環境衛生係に、おたずねください。

省エネルギー

台所で使う電気器具

省エネルギーシリーズ、今月号は家庭電気器具です。家庭電気器具は大きくわけて台所で使うものと、掃除・洗たくに使用のもの、そしてテレビ・ラジオなどにわかれます。今月はその中で台所で使う家庭電気器具について考えてみたいと思ひます。

置場所に注意

五月号では、電気を熱として使用することは、とてもムダな使い方であることをお話ししましたが、台所で使う電気器具のほとんどは熱器具です。とくにこまめな節電を心がけましょう。

冷蔵庫、冷凍庫の置き場所は、風の通しのない所、○ストーブやガス台から離れた所で、後側は壁から十センチ以上離すと効果的です。また、冷蔵庫に食品を入れるとき、熱いうちに入れると庫内の温度があがり、電気をよけいに消費するばかりか、他の食品を変質させる原因となります。熱いものは、さましてから入れるようにしましょう。

なお、次回も家庭電気器具について掲載いたします。

皆さんのご家庭や近所の方で省エネルギーを実践し、効果をあげている方はいませんか。そのような方がいましたら、町民課広報聴係に、ご一報ください。取材にうかがいます。

家庭にあった大きさを

台所の電気器具といえば、冷蔵庫、冷凍庫があります。最近では2ドア式の大型冷蔵庫が出ておりますが、一般的には四人家族で百五十リットルの大きさがあれば充分だといわれています。

また、子供のいる家庭では子供がドアをひんばんに開けるのを目にしますが、ドア

6月の日曜当番スタンド

幕別地区

6月3日	堂前石油
6月10日	幕別トラック石油
6月17日	那須石油
6月24日	笹井石油
7月1日	幕別興業石油

札内地区

6月3日	ツバメ石油
6月10日	宗岡石油
6月17日	杉本石油
6月24日	山崎石油
7月1日	三ツ輪商会

こんにちは



寿町に住む東常念さんが、フジカラー全国八ヶ谷コンテストで優秀賞を受賞。今回受賞した作品は「父さんの海」と題したドキュメントで「海で働く父親とたくましく、力強い父親を心から敬愛する子供の姿」を描いています。8ヶ谷を始めたきつかけは、成

8ミリ

東常念さん
長じていく子供の姿を写真と
は違う動きのあるもので残し
たいということからですが
年に五十本以上は写すそう
です。「何よりの趣味は8
ミリです。これからも、人の
働く姿や幕別の四季といっ
た作品を数多く写したい」
と語る東さんは、8ヶ谷歴二
十年で自宅にスタジオを持つ
ほどのマニアです。

明倫に住む前川敏春さんが「自給飼料の安定確保」を目的とした十勝地区飼料品質改善共励会で最優秀賞を受賞しました。酪農家の悩みは良品質の飼料生産にあります。前川さんは、天候の変化と収穫時期を考えた品種の選定が評価を受け、今回の受賞

飼料

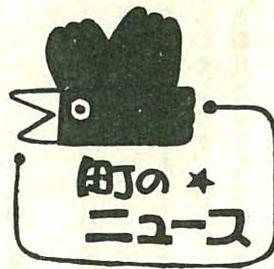
前川敏春さん
となりました。飼料の中でも特に乾草の場合は、好天が三日以上続くような日を選び水分・触感・香気にも細心の注意を払い収穫するため大変苦労するそうです。「昨年は、好天に恵まれただけです」と控えめに話す前川さんは、三十歳と若く地域の人々からも、農業の指導者として期待されています。



幕別駅に勤務する旭町の高橋秀昂さんが、書道でみごと道展に入選。高橋さんは、これまでにも道東展では二回程秀作に選ばれていますが、二千点もの参加がある道展での入選は、これが初めて。「無心に白い紙へ筆を走らせ

書道

ながら、書を通し古い時代の残された文化に接するときに何んとも言えません。」と語る高橋さんは、日に三時間筆を手にするそうです。書道を本格的に始めて二十一年。楷書、草書と書体はいろいろありますが、楷書が力強く一番好きだそうです。また、剣道四段とスホーツマンでもあります。



宝町公区（長尾玉市公区区长）では、公区内から交通事故をなくしようと公区内の危険なところ数か所に「交通安全宣言公区」の立て看板を設置して、道ゆく人々に交通安全を呼びかけています。宝町公区では、三年前に女の子が大型トラックにはねられるという痛ましい事故があり、また、交通

交通安全公区を宣言

宝町公区



量が多いこともあって以前から交通安全には、力を入れていますが立て看板設置には子供たちも協力交通安全を誓い合っていました。

今年も町民会館前に美しい花壇が造られ町民の目を楽しませてくれています。この花壇は、町内の天理教信者の皆さんが、「ひのきしん」といわれる布教活動の一つとして、労力奉仕を行ったもので今年で六年になります。この日（五月二十日）は、信者の皆さん二十人ほどが参加しておま

ひのきしん

天理教信者の皆さん



いりの後、色とりどりのスマシ、ヘチニアなどを植え、二時間ほどのうちにりっはな花壇ができました。

ブラジルから里帰り 48年ぶり

南勢出身の福家さん

○：「十年たつたら帰国する考えでしたが、とうとうブラジリ：○
○：ルに骨を埋めることになりました」と、四十八年ぶりに：○
○：「ふるさと幕別」に里帰りした南勢出身の福家清一さん：○
○：（心）と奥さんのうめのさん（心）が、五月十八日にいとこ：○
○：の福家佐多雄さん（心）新和一同にも大石町長を訪れ、四：○
○：十八年間の空白を埋めるかのように、話はつきませんで：○
○：した。

清一さん夫婦が、結婚後一か月に、父・豪一さんのいるブラジルに移住したのは一九三二年（昭和六年）の十二月。明治四十一年十一月生れの清一さんが二十三歳の時でした。

船の中で毎日ポルトガル語を勉強しながら四十六日間の船旅の末サンパウロの植民地に入植しましたが、日本で聞いた話と違い、とても農業が出来るどころではなく「移住してから一年ほどは、とて

も日本が恋しく、またつらい毎日でした」と語る奥さん。農機具もないため、現地人に頼んで耕してもらったこともあったそうです。



しかし、努力のかいがあつて、一九三四年（昭和九年）には、ベルナンブシコ州政府から、そ業栽培技術員に迎えられたほか、一九五三年（昭和二十八年）にはサンレオポルド日本人会を創立して初代会長に、また、日本文化体育協会会長、ブ

ラジル移民史料館建設募金会史料収集委員などを歴任しています。昨年六月に開催されたブラジル

日本移民七十年祭では、準備委員会の副会長として活躍、「皇太子殿下ご夫妻とお話することが出来たことは、終生忘れることの出来ない感激です」と語っていました。

現在はポルトアレグレで農業を営んでいますが、数々の功績から

今春の叙勲で勲五等瑞宝章が贈られ、お二人で受章式に出席しました。

「日本は、とても美しく、また皆さんは親切です。そして治安が安定していますね。幕別は、とてもなつかしい、街は美しく清潔です。ね」と、町長室から街並みを、あくことなく眺めていました。

百歳を目前に死亡

宝町の佐々木トヨさん



九月二日の誕生日で百歳となる方が四月二十一日に亡くなられました。

百歳を日の前にして亡くなったのは宝町の佐々木トヨさん。トヨさんは明治十二年九月二日の生れました。

ですが、実際に生れたのは一年前であったそうです。

秋田生れのトヨさんは大正五年に古舞へ、のち茂発谷に移住し農業に従事していましたが、終戦の年に、娘の中村久さんと同居、畑の草取りをするなど元気を毎日をおくっていました。

昭和四十六年に現住所の宝町に移転してから、楽しみにしていた畑いじりもなくなり、この頃からめっきり足腰が弱り、百歳までは

河川は自然が残したレクリエーションの場です

河川や河川敷でレクリエーションなどを楽しむ人々が増えていますが、これら河川や河川敷を平気で汚す者が跡をたちません。

ただいま、河川、河川敷の美化運動が展開されています。河川や

河川敷は、自然が残した、またとないグリーンゾーンであり、レクリエーションの場です。楽しい一日をすごした後は、かならず跡かたづけをし、ゴミなどを散らかさないようにしましょう。

スポーツ安全協会傷害保険



安心してスポーツを楽しむためにあなたも。

保険期間は来年3月まで。10人以上の団体（学校のクラブ、部活動を除く）が対象です。保険料は種目に応じ年 340～1600円。

★お申し込み、お問い合わせは 教育委員会・社会体育係 ☎4-2006

なんとか——という家族の皆さんの看護のかわいなく、亡くなられました。

税のテレホンサー

ビスをご存知？

税金のことで、わからないことや困っていることはありませんか。税務相談室では、忙しい人や遠隔地の人のために、電話による相談もおこなっています。これをテレホンサービスと呼んでいます。相談は無料で、匿名でもかまいません。電話は次の通りです。帯広税務相談室 (24) 0943 (帯広税務署)

古井戸に危険防止策を

防火井戸に小学生が落ち、死亡するという大変な事故がありました。町消防署では、この種の事故再発を防ぐため、すべての防火井戸を点検し対策をすすめています。ところで、この事故発生によって、新たな問題がおこりました。それは、各家庭の所有地内にある古井戸です。

型を保っているものもあります。最も心配されているのは、掘り抜き井戸のある敷地が、転々と所有者が変り、埋め立てることなく放っておかれているところです。これらの古井戸は、何れも木で作っており、また、作られた年代

も、わからないものが多く、それだけに危険度はおおきいと言えます。皆さんの近くに、または所有している敷地内に、使われていない古井戸がありましたら、埋め立てるか、金アミで囲むなどの措置をし、子供たちが近寄らないよう危険防止をしてください。なお、現在使っている井戸でも十分にご注意ください。

苗植は四千四百円

五十四年度の援農労賃

幕別に上水道が出来たのは昭和二十八年十二月。それまでは個人または共同で井戸を掘り、生活用水として使用していました。その後、掘り抜き井戸からポンプ、水道とかわりました。

町援農協力会では、昭和五十四年度の労働賃金を、次のように改正いたしました。

掘り抜き井戸は、埋め立てられたり、自然に崩れて姿を消しましたが、それでも、まだ、井戸の原

水田 苗植四千四百円、苗取三千二百円、除草三千三百円、稲刈三千四百円
ビート 移植(手植)三千六

馬れい薯 手植三千六百円、機械乗三千四百円、ひろい三千五百円、選別三千三百円、きり三千円
その他 豆刈作業三千六百円

寄付

ありがとうございます

ございます

町へ……

▽日置砂利工業(株)社長・日置米蔵さん(帯広)から会社設立二十周年を記念し交通安全対策資金として百万円 △山口タカさん(途別)から桜の苗木千本 △松田利子さん(宝町)からツツジ四本 △幕別ライオンズクラブから住民

係窓口へ老眼鏡十二個 町社会福祉協議会へ……
▽岡坂啓一君(相川)から落し物が時効になり警察から交付された五百円を △清水善雄さん(本町)から父が生前お世話になりましたと五万円 △佐藤春久さん(泉町)から一万七千二百四十五円 △匿名の方から今月も僅かですかと千円 △渡辺萩さん(千住)から亡夫の香典返しを廃止して一万円 △横沢哲造さん(軍岡)から母が生前お世話になりましたと

二万円(幕別老人クラブへ指定寄付) △渡辺トメヨさんから五万円(札内老人クラブへ指定寄付) △高田国造さん(新北町)から五千円(札内老人クラブへ指定寄付) △松岡秀美さん(明倫)から父が生前お世話になりましたと三万円(明倫、美川老人クラブへ指定寄付) △砂田貞代さん(相川西)から夫が生前お世話になりましたと一万円(相川西老人クラブへ指定寄付) △明野南公区から四万円(明野新川長寿会へ指定寄付)

豆積三千六百円、一般除草三千二百円、秋収穫作業三千五百円、雑作業三千円
以上は八時間の労賃ですが、十月十五日以降の実働時間は七時間三十分。また、時間外は五百円、

休けいは午前、午後各十五分
なお、ただいま季節的に農作業に出られる方を募集しています。希望者は農民同盟事務局(幕別農協内)か役場開発商工課労政係にご連絡ください。

スポーツ・文化教育賞

＝53年度の受賞者きまる＝

昭和三十三年度においてスポーツおよび文化の振興に功績のあった方に贈る教育賞受賞者が決り、各小中学校で伝達式をおこないました。受賞者は次の通りです。

佐々木麻美、岩井めぐ美、鯨岡健山根由美(以上幕小)、帰山真樹(白人小)、藤川幸、横田智美、岡田仁志、石川かおり(以上札内南小)、相沢真弓(相川小)、辺見泰弘(美川小)、山田幹恵(糠内小)、佐藤徳之、新田真由美(以上駒島小)
ジュニアスポーツ賞(個人)
高山千夏、堀口静枝、笹原智恵
高山千春(以上幕小)、横田昭彦
藤川誠(以上札内南小)、坂田めぐみ、相沢ゆかり、加藤昭二、大西由延、山口悟、五嶋誠、嘉多山信、高島勉(以上札内中)、中村啓光、長崎克己、能戸淳志(以上駒島中)

文化教育奨励賞(個人)
田村美穂子、井上理、高山千夏、相原匡、清原ひとみ、石川麻子、菊地香織、山本厚司、渡辺はるみ、高山千春、井上敬子(以上幕小)、佐藤勝代(新和小)、佐伯恵美、秋葉理、松田さゆり(古舞小)、早苗聡子、三田村幸子、土屋泰子、高木静子、上田由美子、渡辺清隆、鎌田睦子(以上幕中)、相沢ゆかり、伊藤優紀子、石丸一枝、桜田なおみ、佐藤智子、長尾洋美、高島勉(以上札内中)、飯塚昭雄(糠内中)

ジュニアスポーツ奨励賞(個人)
堀口友美、本保英希、小松晴美、竹内満清、坂口朋充、若月啓良、

ジュニアスポーツ奨励賞

(個人)

丸内中学校、駒島中

丸内中学校、駒島中